



高山西ロータリークラブ

# 例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「夏終わる夕焼け」 蜘蛛 康介

## <会長の時間>

～前回の続きです～

この若者は、遅れた夏休みを取り、東京から彼女を連れて帰省して、運悪く事故に遭いました。助手席の彼女はかすり傷ひとつありませんでした。



今、目の前に横たわっている若者の命運は私の手にかかっています。3つに裂けた肝臓からの出血を止めることができなければ助かりません。確実に死亡します。生きるか死ぬかの瀬戸際です。この状態を続けるわけにはいきません。必要な情報も答えも結末も見えない状態の中で、決断を下さなければいけません。時間がない、頼る人はいない。精神的にせっぱ詰まり極度に消耗して、肉体的にも疲労の極みでした。不安と焦りの中でもがいているうちに、自分の役割はこの人の命を助けることであるから必ずできるに違いない、という使命感のような気持ちが湧いてきました。メスを取って開腹してから、見通しの立たない中で数時間耐えていると、突然答えが閃きました。

今圧迫している手の代わりにお腹一杯にガーゼを詰め込み、一枚一枚のガーゼを繋いでお腹を閉じ、ガーゼの一部をお腹の外に出しておき、一日か二日後止血を確認してからガーゼを取り出せばよいではないか。答えが解ると余裕ができます。もう一度念のため1時間圧迫してみました。一時間後圧迫を緩めても出血しません。10分間持っても出血しません。裂けた肝臓を縫合して手術を終わりました。心配していた出血はなく、発熱など感染の気配もなく肝機能にも異常はありませんでした。ところが数日してからお腹に入れたチューブから胆汁が流出し始めました。止まるだろうと思っていましたが全然止まる気配がありません。1日500cc以上になりました。修復手術が必要なので熟練した先輩医師のいる他の病院にお願いしました。その後の経過は良好で、現在もすこぶる健康です。

突発的な手術例を3例お話しましたが、予定手術との違いは短時間内に全体の把握をしなければならないこと、必要な人材や材料が十分でないこと、さらに成功への見通しが不確実な状況で、

ある程度直観に頼ってゴーサインを出す決断力、途中でギブアップしないで答えが見つかるまで耐える気力、必ずできるという信念と使命感が不可欠です。

事業経営においても、予期しない環境の変化が生じた場合には、同じような対応決断が必要だと思います。

## <幹事報告>

◎ロータリー財団 より

- ・「未来の夢」ニュースレター

◎社会福祉法人高山市社会福祉協議会より

- ・平成24年度第2回評議員会の議案送付について

◎高山岳城ライオンズクラブより

- ・高山5クラブ親善ゴルフコンペ収支報告

## <例会変更>

高山 ……10月18日(木)は、職場訪問例会のため、

横畑農園 に 変更

11月15日(木)は、紅葉同伴例会のため

18:30～ 柿刈り高山リゾート に 変更

11月29日(木)は、定款第6条第1節により休会

## <受贈誌>

地区事務所(インターアクト韓国派遣報告書)、台北東海RC(会報)、

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	42名	7名	49名	50名	98.00%
本日	41名	—	41名	50名	82.00%

奉仕を通じて平和を

# 例会報告

## <本日のプログラム> 会員スピーチ

### 小瀬 真之介

こんにちは 小瀬 真之介です。6月末に伝統ある高山西RCに入会させていただき3ヶ月がたちました。私の仕事は建築の設計事務所をおこなっています。今回は私のことを知っていただきとうとう、どうやって今まで僕が過ごしてきたかの自己紹介と仕事を通してみた高山市について思うことをお話させていただきます。



昭和42年10月29日生まれで血液型はA型です。岐阜県高山市生まれの高山育ちの44歳です。高山市立西小学校～高山市立東山中学校～県立斐太高校を卒業し、関東にある芝浦工業大学の工学部の建築学科を平成3年に卒業しました。

建築のほうに進んだきっかけは、高校生のときは文系の教科よりも理数系が良かったのでまあ理数系のほうが向いてるんじゃないかと思ひ、建築だったらつくったものが形になって残り、たくさんの人との共同で仕事し、いろんな種類の建物があるのでやりがいもあって、とても面白そうだと考えたからです。当時自分なり一生懸命考えて決めました。学校に入って勉強しだすと、だんだんと建築が面白く感じてきました。大学では医療・福祉関係の施設計画を卒業設計の課題として選びました。卒業後は設計で生きていこうと思うようになりました。

平成3年から5年間 名古屋市にある株式会社 本田建築設計事務所にお世話になりました。そこでは主に民間のマンション、個人住宅、建売住宅、倉庫、工場などの設計をしました。特にマンションはたくさんたくさん図面書きました。

5年たったころ、福祉関係の施設なども設計したいと思ひ、いろいろさがして、埼玉県のさいたま市(当時大宮市)にある株式会社アライ設計に転職しました。そこで平成13年までの5年間、特別養護老人ホームやデイサービスセンター、介護福祉施設やケアハウスなどの社会福祉施設や、総合病院や診療所・歯科医院などの医療関係の施設を中心に設計監理しました。養護学校や消防署や文化施設なども設計に入る機会をもらえ大変感謝しています。

平成13年の春に家の事情で急遽地元高山にもどって着ました。そして平成14年から二年間、株式会社伊藤利一商店にお世話になりました。利一では建材部の配達をやっていました。二年間ひたすら建材のものを運んでいました！ボード・コンパネ・構造用合板やフローリングや断熱材などを運びました。今よりも10kg以上やせて、汗を流して働いていました。配達の仕事は、肉体的につらく大変なハードワークで、最初はまったく使いものにならないものでしたが、組んでいた先輩の指導おかげもあって、なんとか仕事がやれるようになり5時までにすべて配達し終わる！を目標に

2tトラックで高山の町を走る日々でした。体はやせて健康になり、途中からは筋肉痛もなくなり、汗をかいて5時くらいに仕事が終わわり、帰ってからは自分の時間も充分とれて、なかなか楽しくもあったのですが、「やっぱり設計の仕事がしたい！」という想いは強く退社しました。

当時、高山で設計の求人はなかなか無く、NETで設計者募集をみつけて電話でお願いして面接してもらい、株式会社 西建築設計事務所に平成16年に入社しました。西設計では4年半の間大変お世話になりました。それまでやったことがあまりなかった役所関係の委託業務を中心に設計しました。高山市役所・下呂市役所などの市町村関係の発注や、岐阜県庁や国土交通省などの発注された設計監理業務委託を経験しました。今までやったことのない設計関係をやらせてもらえ、担当仕事は楽しい日々でした。たとえば公団マンション、庁舎の耐震補強工事、維持管理事務所、お寺の庫裏や牛舎、ボーリング場などの仕事にかかわらせていただき感謝しています。いろいろなことを経験させてもらったのですが、ある秋の日、会社を辞めることになりました。

働く場所を探していたときに、設計事務所以外も探そうと思ひました。そして、あるホーム会社に入りました。それまでやったことのない営業や職人さんとの直接の打合せなど今まで知らなかった世界を知ることができました。いろいろな人がいて、いろいろな出来事があるということの良い悪いも含めての社会勉強をさせてもらいました。いろいろな出来事や事件や問題のなか、一年弱お世話になり、平成21年の年末に退社しました。

そして平成22年4月に株式会社真設計を始めて、いろいろな人にお世話になり助けられて、現在に至る次第です。

高山にはたくさんの古い町家が残っています。各通りや屋台組などを中心につくられている町並保存会などもありますし、住んでいる人たちの街並に対する意識も高いと思ひます。まあ高齢化だったり今の暮らしに昔の家はあわないところもあるため、取り壊してしまうところや空き家も昔よりは増えてきていますが・・・でもみんな飛騨高山の良いところを守っていこうという人やとりくみはとても多く素晴らしい街だと思ひます。そんな飛騨高山の街並みや文化に対して仕事を通して貢献したいと考えています。

まだまだ若輩者ですが、今後共ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

### 挾土 貞吉

この病人「脳卒中」の私に、「新会員に向けて自己紹介とロータリー会長の時の話をせよ」とのことですので、脳トレ、言語訓練を兼ねて残り時間約8分間話をさせていただきます。

私は、株式会社挾土組の挾土貞吉です。職業は左官です。昭和16年太平洋戦争が勃発した年の10月1日生まれで、今NHKで放送中の吉田茂が主人公のドラマ「負けて、勝つ」の時代背景の時に生まれ育った男です。B29が



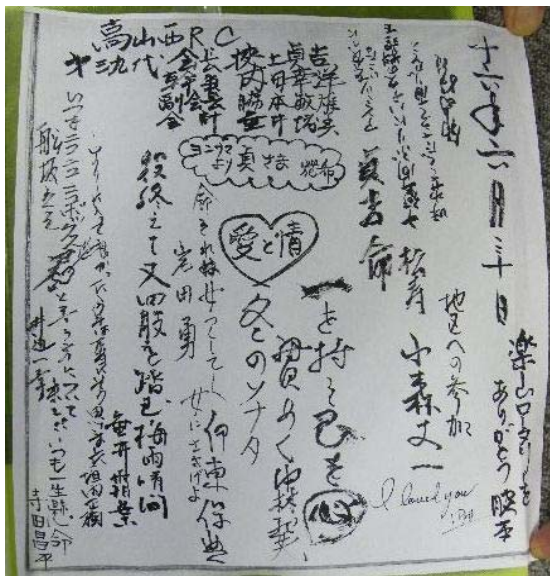


# 例会報告

来るとか、マッカッサー元帥、ピカドンでハングリー、ハングリーや、バカヤロウ言葉が使われる戦争の爪跡の残っている時代で、毎日外でどん鼻を出して飛び跳ねて遊んでいた頃を今も覚えています。また、ひもじい思いの中で一粒のご飯でもこぼすと勿体無い、罰が当る、目が潰れると叱られ拾って食べたものです。「働かざるもの食うべからず」の格言があり幼い小さな子供が常に家の手伝い、仕事をさせられたものです。中学になってからは丹生川から高山まで朝暗いうちに起床し、自転車で朝市に行き卵売りをした事が今もって懐かしい思い出です。

さて、時間がありませんのでロータリーのことを話します。ロータリー歴30年になりますが、10年前39代会長を務めました。時のRI会長が職業を通して社会に奉仕しなさい、天職を高めなさい、そして「手を貸そう」と呼びかけられ、伊達ガバナーは「人に愛を」がテーマでした。私は情を加え、「愛と情」をテーマにして会長スピーチをしました。時は韓流ブームで、テレビは冬ソナが大人気の時でしたので恋心、ハート、融和を大事にしたクラブ運営に心がけたのでした。とは言うものの、会長とは名ばかりで幹事の内田、副会長の脇本、委員長の伊藤、寺田、井辺さんを始めとする各委員長、役員さん達の働き、会員皆様のご協力のお陰で無事務める事ができたのでした。あの時は皆さん、本当に有難うございました。ロータリーの金メダルである、RI会長賞と広報優秀賞という大賞を2つもいただき、品格あるクラブとして認証された事を誇りに思いました。残念な事にその表彰が地区大会壇上で新田さんがいただけなかったことが心残りです。

先般の浴衣例会の時、当時の新会員であった門前、河渡、堺さん達からあの時に大変だったが楽しかった、と思ひ出話をしてくれました。また、当時の資料を広げておりましたらこんな寄せ書きが出てきました。



ロータリーに入って良かった、今年は本当にそう思いました、とか、貞吉命、ヨン様よりサダ様、楽しいロータリー有難う、などが書いてあり、失敗や迷惑、恥をいっぱいかきましたが、会長をさせて頂き本当に良かったとつくづく思っています。

大阪の国際大会に参加、京都で楽しい芸子遊びも会員皆さんとすることが出来ました。良き思い出です。

新会員の皆さん、ロータリーでは役がきたら断れないところです。しかし皆さんが協力し助けてくれます。無理、出来ないと言わないで、出来る方法を考える事でなんとかなります。ガバナーを目指して頑張ってください。時間ですので終わります。

## <ニコニコボックス>

### ●折茂 謙一さん

9月27日夜、会員増強委員会では堀川さん大変ご馳走になり有難うございました。

### ●米澤 久二さん

本日は小瀬さん、新会員スピーチよろしくお願ひします。楽しみにしております。

### ●塚本 直人さん

昨夜、会員増強のミーティングが堀川さん宅でありました。堀川さんの心のこもった船長料理を食べさせて頂き感動しました。ありがとうございます。

### ●菱川 正臣さん

9月21日例会の会報に素晴らしい写真を掲載していただきありがとうございます。めったにニコニコに出しませんのでまとめて。

### ●大村 貴之さん

いよいよ国体がスタートです。当社ではビックアリーナの清掃を行っております。ぜひ会場に足を運んで下さい。本日は国体最終打ち合わせのため、早退します。

### ● 一期一会 「繋がり強化」 阪下 六代 ●

- 昭和61年7月に高山西RCに入会させていただいてから27年余りが過ぎましたが、同年度に入会した4名のうち残っているのは私のみで、淋しい思いをしています。
- 昨年度入会された11名の新会員の皆さんは、早くも同期入会の繋がりを強化させるべく繁々と集っておられ、まことに結構、かつ羨ましいことでもあります。
- クラブにとって「親睦」が最も大切なものであり、これによって培われる会員相互の友愛があるからこそ、例会の出席も義務ではなく、楽しみとなります。
- そして、それが会全体のエネルギーの源となって、次に「奉仕」への切磋琢磨に向かうのだと実感しております。
- 佳き人と知り合えたら、その繋がりを大切に、より強化していかなければならない、といつも考えているところです。

### ● 一期一会 「ロータリーでの一期一会」 斎藤 章 ●

- 昭和63年(平成元年)に、現在地に開業。4月の開業の際に、従姉妹の垂井博美さんと長瀬克二さんの二人に西ロータリーの入会を勧められた。24代の久保田会長と垂井幹事の8月に入会。同期8人もの仲間と共に、会長、幹事、オブザーバーを含めての十数人の二四会の夜の集まりに度々呼び出されました。勤務医時代が15年、閉鎖的な社会でごく限られた空間の中でしか活動していなかった者が、40才そこそこで異業種の大先輩に色々なことを教えて頂きました。その当時、クラブも全体的に若若しく、活気あり、ボランティア活動も活発で多方面に渡り参加させて頂きました。西も東もわからない若造が、ロータリーのなんたるかを何も分からない内に年を重ね、脇本会長にもと幹事もさせて頂き、なおかつ47代の会長までも務めさせて頂きました。少しはロータリーのことも理解できたように思いますが、ますますの精進が必要だと感じております。